

オープンソースの「今」を拓く
オープンソースカンファレンス
2020 Osaka

GNU GPL入門

2020年1月25日
NEC OSS推進センター・姉崎章博

ライセンスは 契約ではない
「ライセンサーとライセンシーとの契約」?

それは「ライセンス」ではなく「ライセンス契約」。

商用ソフトウェアのソフトウェアライセンスの

EULA : End User License Agreement は

ライセンスについての合意、つまり、ライセンス契約。

"Licenses are not contracts" by Eben Moglen 10 September 2001
<https://www.gnu.org/philosophy/enforcing-gpl.html>

GPLは、何を許諾・許可しているのか?

Linuxの場合、 GPLv2 第3条 <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.html>

3. あなたは上記第1条および2条の条件に従い、 許諾条件1(BSD+GPL+)

『プログラム』(あるいは第2条における派生物)をオブジェクトコードないし

実行形式で複製または頒布することができる。許諾内容

ただし、その場合あなたは以下のうちどれか1つを実施しなければならない:

a)著作物に、『プログラム』に対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを添付する。(付録)

b)著作物に、(中略)ソースコードを、(中略)提供する旨述べた少なくとも3年間は有効な書面になった申し出を添える。(以下略) 許諾条件2

※BSDL:Berkeley Software Distribution License

許諾条件を満たさないと、**どの法律違反**になるのか?

著作権法。

すでにしているが、
GPLには こう直接的に記載されていないので わかっていない人が多い

ほとんどの自由ソフトウェアのライセンスは、

著作権法に基づいています

Most free software licenses are based on **copyright law**

<http://www.gnu.org/philosophy/no-ip-ethos.html>

ほとんどの自由ソフトウェアのライセンスは、

著作権を元にしています。

Most free software licenses are based on **copyright**

<https://www.gnu.org/philosophy/free-sw.html>

Orchestrating a brighter world

未来に向かう、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値を実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
革新的技術とさまざまな知識やノイズを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協調しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

そもそも、ライセンスとは

a licence is a unilateral permission, not an obligation,
ライセンスは、一方的な許諾であり、義務ではない

Transcript of Eben Moglen at
the 3rd international GPL3
conference; 22nd June 2006



<https://fsfe.org/campaigns/gpl3/barcelona-moglen-transcript.en.html>

ユスティニアヌ法典(ローマ法大全)の法学提要(the Institutes of Justinian)記載用語

ライセンス(license)はラテン語で許可もしくは同意といった意味を表す "licentia"という言葉が起源とされる。

17世紀後半には英国の判決で、ライセンスとは、なんら財産や利益の移転や財産の移転・変更をせずに、ライセンスが行なわなければ違法になる行為を合法にすることであるとの定義が現れる。

金子宏直, Section 1 ライセンス概論「ビジネス法務大系」ライセンス契約 日本評論社

1. Copyright law is much more uniform among countries than contract law, which is the other possible choice.

著作権法は、国家間で、契約法や他のありうる選択より、

非常に均質である。

2. There's another reason not to use contract law: it would require every distributor to get a user's formal assent to the contract before providing a copy. To hand someone a CD without getting his signature first would be forbidden. What a pain in the neck!

契約法を使わないもう一つの理由は、コピーを提供する前

に、契約への正式な同意を得ることを、あらゆる発布者に

要求するから。彼のサインをもらうことなく誰かに

CDを渡すことは、禁じられている。うんざりする!

Stallman氏がGPLを契約法に基づかせない正当な2つの理由
Don't Let 'Intellectual Property' Twist Your Ethos
<http://www.gnu.org/philosophy/no-ip-ethos.html>

by Richard M. Stallman
June 09, 2006

GPLが無くて、自由に実行はできる→違反ではない

(使用許諾契約などの)制約なく、

バイナリが公開されたなら

自由に実行でき、

ソースが公開されたなら

自由に改変もできる。

GPLの条件を満たせば

複製または頒布できる。

つまり、

複製権の行使が許諾される

許諾を得て

利用可能

GPLが無ければ、再頒布は違法行為

ソフトを自由にするルールとGPLを誤解している人は

この道理をわかっていない。

「契約でなければ、法律違反は気にしない」のは、

根本的に、おかしい。

で、保証しようとしている「自由」は

フリーソフトウェアを共有したり変更したりする

自由

フリーソフトウェアの複製物を頒布する自由

※なお、最近(数年前)のGNUサイトでは、

「フリーソフトウェア」は「自由ソフトウェア」と表現

「フリーソフト」との混亂・誤用を避けるためか。

GNU GPL グニューギーピーエル

GNU General Public License

グニュー ジェネラル パブリック ライセンス

■ GNU projectで開発公開するプログラムのライセンスの一つ

●GNUソフトウェア: GNU Emacs, GCC, gdb, ...

■多くの他の開発プロジェクトでも利用

●Linuxカーネル、Samba、MySQL、WordPress、...

作った人たちが「GPLは契約ではない」

GPLを契約と扱って、

にもかかわらず、あるIPA報告書(2009年)では、

『「GPLは契約ではなくライセンスである」と

いったことは一切述べていない』などと事実誤認

の上で記述されている。

「契約ではない」なら、やらないといつか?

許諾条件(BSD相当+a、ソース開示)を満たさなければ、

「複製または頒布」が許諾(ライセンス)されないだけ。

「ライセンスが行なわなければ違法になる行為を合法にすること」

なのだから、やらなければ違法行為(法律違反)になる。

GPLが無ければ、再頒布は違法行為

ソフトを自由にするルールとGPLを誤解している人はこの道理をわかっていない。

「契約でなければ、法律違反は気にしない」のは、

根本的に、おかしい。

で、保証しようとしている「自由」は

フリーソフトウェアを共有したり変更したりする

自由

フリーソフトウェアの複製物を頒布する自由

※なお、最近(数年前)のGNUサイトでは、

「フリーソフトウェア」は「自由ソフトウェア」と表現

「フリーソフト」との混亂・誤用を避けるためか。

自由ソフトウェアとは？ (ほぼOSSと同じプログラムをさすが、<https://www.gnu.org/philosophy/free-swja.html>)
あるプログラムが自由ソフトウェアであるとは、
その利用者が、以下の4つの必須の自由を有するときです

0. どんな目的に対しても、

プログラムを望むままに実行する自由

1. プログラムがどのように動作しているか研究し、
必要に応じて改造する自由

2. 身近な人を助けられるよう、コピーを再頒布する自由

3. 改変した版を他に頒布する自由

BSDやApacheのプログラムにこれらの中の自由はないですか？

17 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

コピー・レフトの都市伝説

コピー・レフトはコピーライトの逆の意味

著作権に反対しているかと、著作権を逆手に取ったとか

コピー・レフトはコピーライトが残っているという意味

そんなことGNUは言っていない

コピー・レフトの概念のライセンスへの適用状況に応じて

コピー・レフト型、準コピー・レフト型、非コピー・レフト型
の3つに分類(IPAの報告書での分類)

そんな適応基準のようなものは存在しない！

21 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

すべてのソース添付できれば、一番簡単！…だが
少なくとも、OSSはすべてソース添付すればOK！



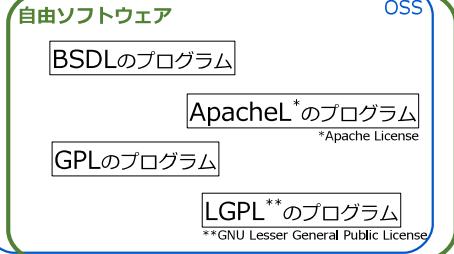
開発アプリもソース添付できれば話は簡単だが、
ソース開示しないで頒布するから、難しくなる。

GPLを利用していたら、著作権侵害など

⇒納品物のソースコードからOSSを検出するツールで確認を

25 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

BSDのプログラムも自由ソフトウェア



GPL以前にBSDLがあったが、何が問題だったのか？

18 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

さて、

こんなGPLの表現を見かけますよね…

改変するとソース公開の義務が発生するとか

正しくは、改変にかかわらず、ソース開示が頒布の条件

あと、GPLのライブラリをリンクすると

アプリもGPLになるとか

これは？ (次ページで補足)

22 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

OSS検出ツールBlack Duckを3F NECブースで展示
安いツールもあるが、

ファイル名しか検出しないツールでは、ソース流用は検出できません。

しかも、一行でも流用したらソース開示はデマだし。

●誰が書いても同じになるコードは著作物性がない。

●全く一致しても独自に創作なら著作権侵害にならない

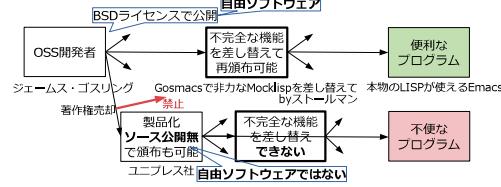
ツール結果を著作権に基づいて解析できるスキルが必要

→ NEC解析支援サービス



26 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

BSDライセンスで問題とストールマンが思った事



不便なプログラムを修正する能力があるっても、

ソースコードが無ければ改善できない。

結果、不便なプログラムの利用を強いられる。

BSDLでは再頒布の際に自由でなくなる事も

19 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

ウィキペディアのGPLのライブラリの説明

https://ja.wikipedia.org/wiki/GNU_General_Public_License

ライブラリ

…、次のようないくつかの異なる見解が存在する。

見解1: プロプライエタリ・ソフトウェアを

動的リンク、静的リンクすることはGPLに違反する

見解2: プロプライエタリ・ソフトウェアを

静的リンクすることはGPLに違反するが、

動的リンクに関しては不明瞭

見解3: リンクは無関係である

23 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

使っているOSSとライセンスは判明した。で、何をすれば？

という、自らの理解が不安な方のために

■製品個別・対策支援アドバイス・サービス



<https://jpn.nec.com/oss/osslc/OSSp product.html>

27 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

ソースが無くて改変できない事態を避けるために

再頒布の条件にソース開示の条件を加える

GNU Emacs General Public License

後にこの手法(method)の愛称を「コピーレフト」とした。

GNU Emacs以外のプログラムでも使えるように汎用化

GNU General Public License

決して、コピーレフトという概念があつて、

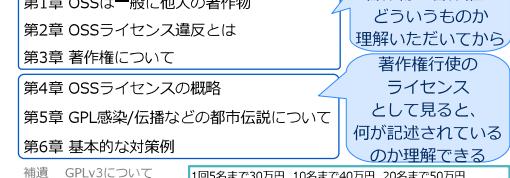
ソース開示も求めたわけではない！

「コピーレフトという概念が重要」と語られる内容には注意

20 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

難しい方に GNU GPLの理解を高める、お手伝いします

■ OSSライセンスと著作権法 講義(SH)



次回、2020年3月10日(火) NEC本社で実施。1~8万円の公開(公募)セミナーの開催も可能

詳細は、<https://jpn.nec.com/oss/calc/> 損害の申込枠

他社と同席、補遺デキスト無し、短縮4.5H

24 ©NEC Corporation 2019 OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

OSSライセンスを正しく理解するための本 順次公開中

第1章 OSSの初步 5/27公開 根拠を示した解説 13

第2章 OSSライセンスの概要 6/27公開 31

第3章 OSSライセンスの都市伝説 11/5公開 58

第4章 OSSを使ったビジネスで気をつけること 82

第5章 トラブル回避のための基本的な施策案 102

第6章 コンサル事例 118

第7章 余談：著作権法とNEC創立の関係 143

<https://jpn.nec.com/oss/osslc/article.html#article08>

<https://jpn.nec.com/oss/osslc/>